

# 地域資源としての石材・石造建築の活用とまちづくりに関する比較調査

建築都市デザイン学科 安森 亮雄

## ■高畠石（山形県）調査（10月14日）

宇都宮市の大谷石と同じ凝灰岩の一種である山形県の高畠石について、現地視察及び調査を行った。



採掘場跡のある  
瓜割石公園



瓜割石公園で行われた、つるはしによる  
手掘りの実演



高畠石の石塀が連続する二井宿の  
町並み



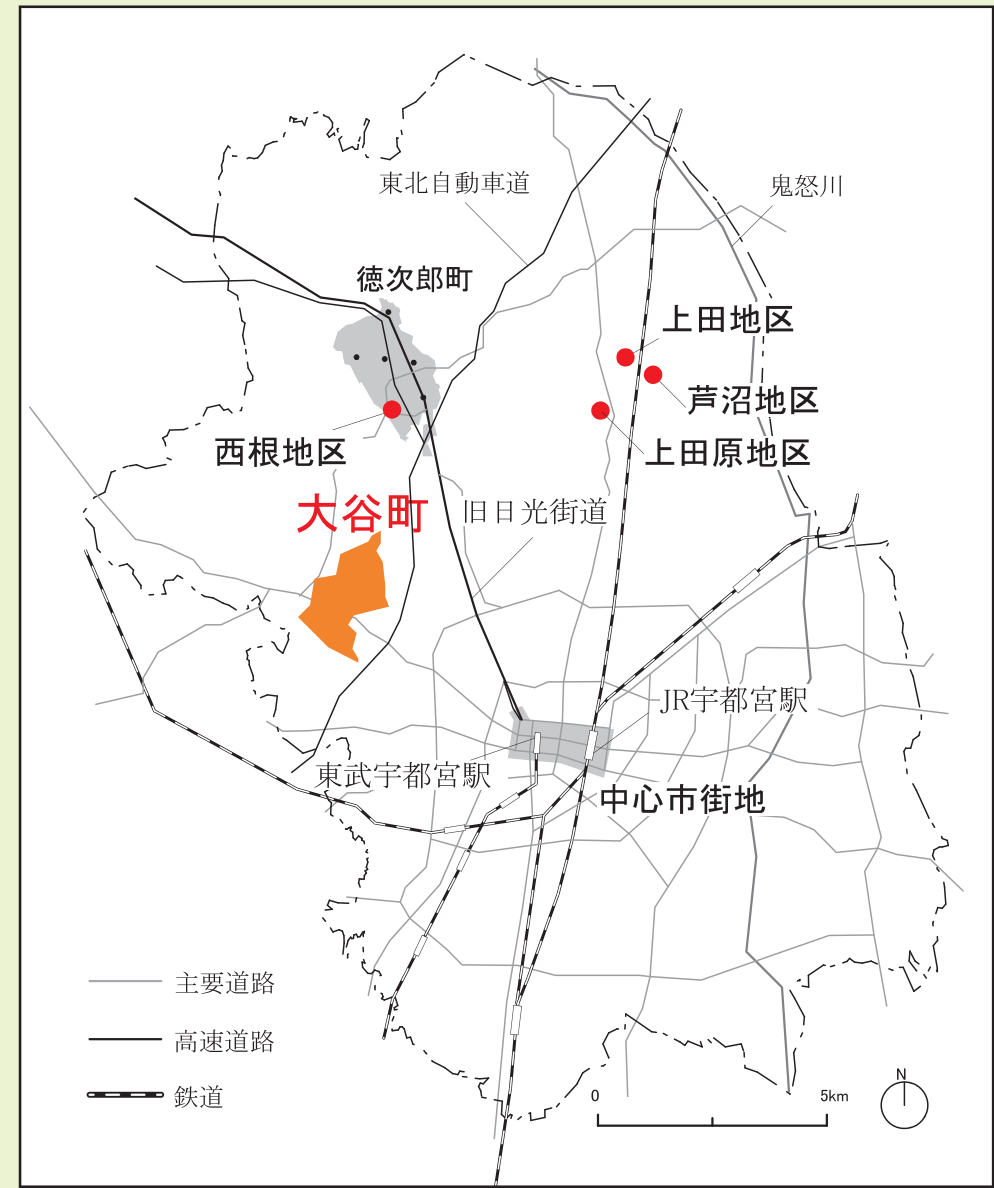
外壁に高畠石を使用した旧高畠駅駅舎  
(1934)

## ■石の街うつのみやシンポジウム（11月18日）

地域住民と共に大谷・大谷石とその文化について考えるNPO法人大谷石研究会主催の「石の街うつのみやシンポジウム」が、大谷石の産地である宇都宮市大谷町の城山地区センターで開催され、パネリストとして講演及びディスカッションを行った。

前半の講演では、報告者他、宇都宮美術館学芸員、大谷石材協同組合代表、宇都宮市大谷振興室の4名のパネリストが、それぞれ専門の立場から大谷や大谷石に関する研究・事業・取り組みを発表した。

後半では、前半の発表を踏まえ、上記4名による議論を深めるためのディスカッションと、地域内外の参加者との質疑応答を行い、現在の大谷・大谷石の抱える問題や今後の展望について意見・意識を共有した。



栃木県宇都宮市大谷町



告知ポスター



報告者による講演の様子



パネリストによるディスカッション

報告者の講演では、「暮らし・生業・産業からみた大谷石の建築とその風景」と題して、まず、露出した石を掘る「露天掘り」や、明治末期から大正期に伊豆から伝わった、質のよい地層をめがけて横に掘る「垣根掘り」の技術による「坑内掘り」といった、大谷町における大谷石の採掘方法とその歴史を紹介した。

続いて、高畠石（山形県）や房州石（千葉県）など、大谷石と同じ凝灰岩を産出し、それらを使用し建物や塀が造られる石の文化・町並みが全国各地でみられ、栃木県宇都宮市でも、大学の庭園の敷石に大谷石が使われるなど、古くから文化や産業に大谷石が利用され、石と地域が密接に関わっていることを報告した。

最後に、報告者らが調査・研究している、市北部の農村地帯における大谷石建物とその町並みについて、大谷石建物の規模や、積石・張石といった石の構法、蔵や納屋などの使用用途等から、建物の類型（タイポロジー）を導き、さらに、それら大谷石建物や石塀が連続し形成される石の町並みについて報告した。



露天掘り(左)と坑内掘り(右)の石切場



峰キャンパスのフランス式庭園

階数	張石造(木造・土蔵)		積石造					鉄筋コンクリート臥梁・柱梁・積石
	全部張石	一部張石	基礎積石・木骨積石		組積			
平屋			平屋 基礎石納屋 	平屋 基礎石住宅 	平屋積石納屋 	平屋積石蔵 	平屋積石小屋 	
	2階建て張石蔵 	2階建て一部張石蔵 	2階建て木骨積石蔵 	2階建て積石蔵 	[複合型] 2階建て積石 離れ+納屋 		2階建てRC積石蔵 	2階建てRC積石住宅 
2階	2階建て張石住宅 	2階建て一部張石町屋 		2階建て積石納屋 	2階建て積石 蔵+納屋 		2階建てRC積石工場 	2階建てRC積石看板住宅・店舗 

大谷石建物のタイポロジー